

# 経営比較分析表

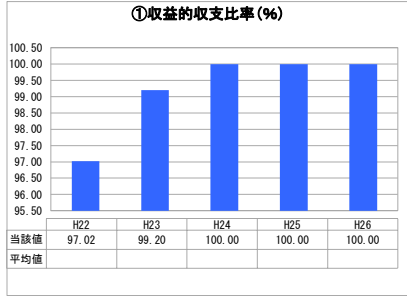
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.91	100.00	3,240

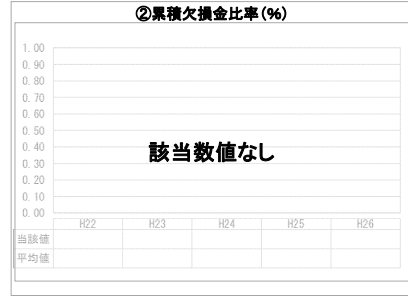
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,773	419.68	32.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
262	0.16	1,637.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成26年度全国平均

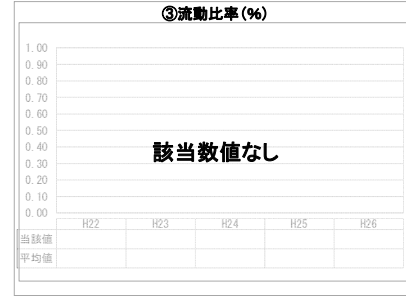
## 1. 経営の健全性・効率性



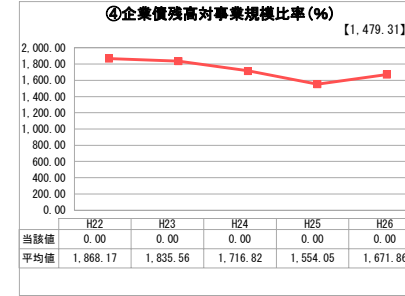
「単年度の収支」



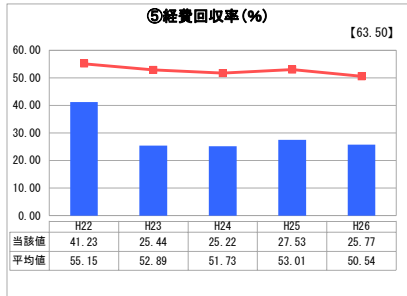
「累積欠損」



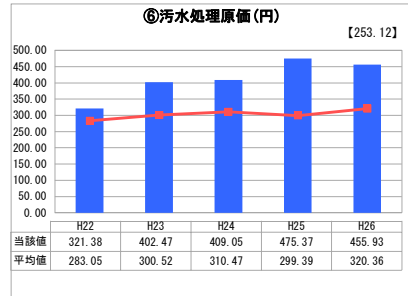
「支払能力」



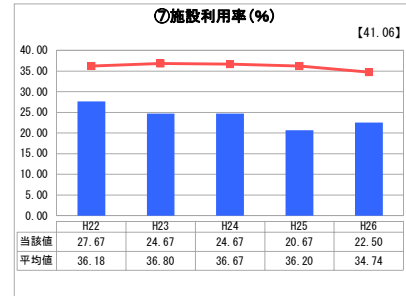
「債務残高」



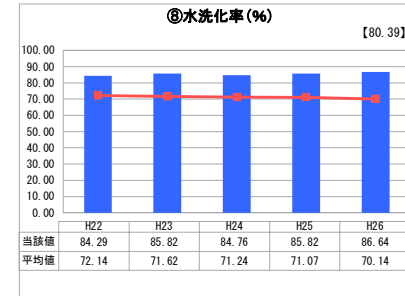
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

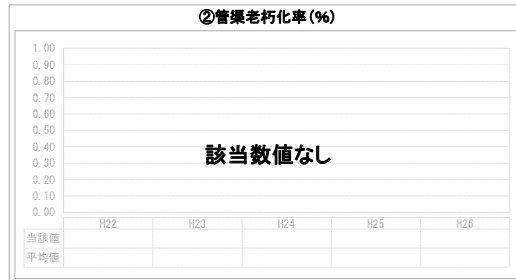


「使用料対象の捕捉」

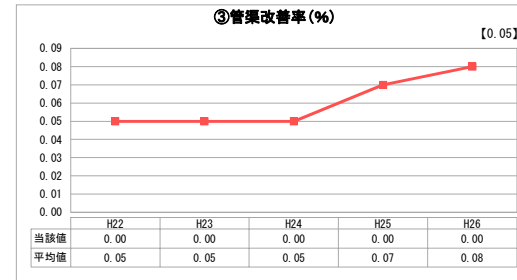
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道は奥津地区の温泉街に整備しているもので、整備面積も狭く、また区域内人口も少ないのですが、観光施設等（道の駅・温泉施設等）の利用者も対象となっています。  
国指定の名勝「奥津溪」にもほど近いことから、より処理能力の高い処理方式を採用しています。  
収益的収支比率は100%となっていますが、経費回収率が26%弱であり、施設の管理運営を一般会計からの繰入に頼っていることが分かります。  
また汚水処理原価も類似団体平均・全国平均を上回っていますが、これは処理方式が高度であることが影響しています。

### 2. 老朽化の状況について

施設や下水道管は平成15年度から平成17年度に整備したもので、供用開始後10年しか経過していないことから、今すぐ老朽化の対策を検討する状況ではありません。  
しかし、経費回収率からも分かるように将来更新が必要になった時の経費を内部に留保できる状況ではないことから、何らかの対策の検討が必要であると思われます。

### 全体総括

施設利用率のグラフにあるとおり、施設能力に余裕があることから、本施設に最寄りの農業集落排水施設1地区を接続することを検討しています。  
接続により、施設の維持管理費も若干増えますが、料金収入の増加により本下水道事業会計や農業集落排水事業会計に好影響を与えられと試算しています。  
いずれにしても、現在は一般会計からの基準内繰入金として定められている企業債の元利償還金だけでなく、維持管理に要する経費も繰入れている状況であり、早急な状況改善策の検討が必要となっています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。